

### Ⅲ 「政治」の教材構成と生徒の政治意識

高 森 充

#### 1. 「政治」の教材内容の組み変えと学級間比較

この小論は、高3の政治・経済における「政治」分野について、昭和48年度1学期の授業内容について、2つの学級を選んで教材内容と指導の方法を意識的に組み変え、両クラスの簡単な政治意識調査の比較を試みたものである。

統制組については、ほぼ教科書（自由書房；政治経済）の内容配列に従って授業を展開した。ただし、単元Ⅲの現代日本の政治の諸問題については、時数の関係で実験組と同じく、レポート課題によった。

実験組の授業内容項目の大綱を示すと次のようである。

<p>(実験組)</p> <p>序 政治の機能と国家の本質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治のイメージ</li> <li>・政治の機能と国家の役割</li> <li>——対立する国家観——</li> </ul> <p>I, 政治体制</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ブルジョア革命と民主主義</li> <li>② 近代政治思想の展開</li> <li>③ 資本主義国家の矛盾と社会主義革命</li> <li>④ 主要国の政治体制</li> </ol> <p>II, 日本国憲法の基本問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 人権への斗争</li> <li>② 憲法とは何か</li> <li>③ 日本国憲法の成立過程</li> <li>④ 現在の憲法における問題状況</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的人権をめぐる</li> <li>・国会をめぐる</li> <li>・行政の肥大化</li> <li>・司法権の危機</li> </ul> </ol> <p>◎ レポート課題</p> <p>「現代日本の政治」</p>	<p>↑</p> <p>4月</p> <p>↓</p> <p>5月</p> <p>↑</p> <p>中</p> <p>↓</p> <p>6月</p> <p>↓</p> <p>7月</p> <p>↑</p> <p>末</p> <p>↓</p> <p>期</p> <p>↑</p> <p>テ</p> <p>↓</p> <p>ス</p> <p>↑</p> <p>ト</p> <p>↑</p> <p>政治意識</p> <p>↓</p> <p>調 査</p>
---	--

#### 2. ポスト・テスト(政治意識について)

政治単元の終了後、以下の(1)~(6)の説問について、選択肢に○印をつけさせ、理由の付記を求めた。(1)~(4)については、結果を簡単に表記するに止め、(5)及び

(6)について、ややくわしく分析する。以下、表中又は文中で(実)は実験組、(統)は統制組を意味する。なお表中、( )内の数値は各組内の%である。

(1) 「政治は多勢で議論ばかりして実行が伴わないよりは、優れた政治家にまかせた方がうまくゆく」

	(実) 44	(統) 43
ア. その通りだ	1) 11	3) 16
イ. どちらかといえ ば、そうだ	10) (25.0)	13) (37.2)
ウ. そうではない	17) 33	17) 27
エ. 全然そうは思わ ない	16) (75.0)	10) (62.8)

(2) 「野党は政府の政治を批判するよりは、政府に協力することを考えるべきだ」

ア. その通りだ	3) 6	3) 11
イ. どちらかといえ ば、そうだ	3) (13.6)	8) (25.6)
ウ. そうではない	21) 38	15) 32
エ. 全然そうは思わ ない	17) (86.4)	17) (74.4)

ここでは(1)の場合以上に、設問に対する否定意見が多く、実験組に特にそのウェイトが大きい。

(3) 「現在の日本で、重要な政治問題（例えば選挙制度や安保問題）について、国民の間に意見は」

	(実) 44	(統) 43
ア. よく一致してい る	0) 9	3) 11
イ. まあ一致してい る	9) (20.5)	8) (25.6)
ウ. あまり一致して いない	25) 35	15) 32
エ. 全く一致してい ない	10) (79.5)	17) (74.4)

この説問に対して、両組の間に有意差はない。

(4) 『現在の日本の政治は、特定の富をもっている人々や勢力が、政府に対して大きな影響力をもっていて、そのために多数の国民の利益がおかされ、無視されている』という意見があります。それについて

	(実) 44	(統) 43
ア. その通りだ	27 (61.4)	20 (46.5)
イ. どちらかといえ ば、そうだ	16 (36.4)	22 (51.2)
ウ. そうではない	1 (2.2)	1 (2.3)
エ. 全然そうは思わ ない	0	0

(5) 日本の政治について、次のA~Dからあなたの考えに最も近いものを1つ選び、その理由を付記せよ。

	(実) 44	(統) 43
A. 政治の現状は色々問題が多いが、比較的うまくいっており、将来は改善されるであろう。	4(9.1) %	9(20.9) %
B. 現状は全くひどくて、行きづまっているが、そのうちによい方向に大きく変えられるであろう。	15(34.1)	7(16.3)
C. 現状は全くひどいし、将来もよくなりそうにない。	17(38.6)	14(32.6)
D. 現状はまあうまくいっているが、将来はゆきづまりがひどくなり、うまくゆきそうにない。	6(13.6)	13(30.2)
無記	2(4.6)	

(パターンと選択理由の事例)

A (Optimism) 「政治はいつの世の中にも問題が多いであろうし、今のところうまくいっている方だ」(女)

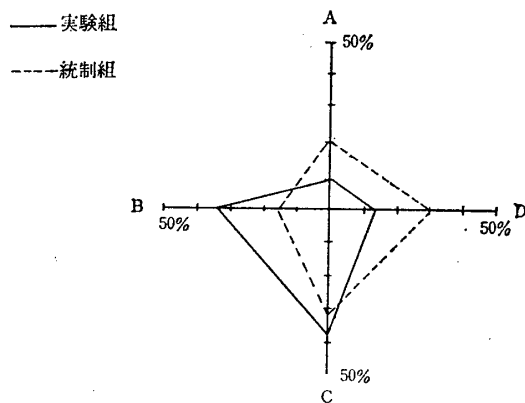
B (Progressivism) 「今流れているニュースを見聞ただけでもあらかた見当はつくが、身のまわりを見わたしても矛盾だらけだ。これで楽観的になれる人はあまりいないと思う。しかし国民もバカではないからこのような状態は打開されねばならないし、いずれは改善される。いや改善していかなければならない」(男)

C (Nichilism) 「今の世の中をみれば公害だけであり、その対策もないし、公害はふえる一方だ。こんな世の中で将来を望むことはできない。特定の金持ちにとってはすべてうまくいく世の中かもしれないが、そのためのぎせい者は目も向けられない。なにか大きなことがおこるかどうかしなければ、どうにもならないと思う。」(男)

D (Consvertivism) 「今のところ現状は大目みで、ほとんどの人間が食うに困らず生きているからよしとしなければなるまい。しかし、このまま資本主義が進んでゆくと、必ずいきづまると思う」(女)

以上のA~Dを「政治意識の配置パターン」として図式化すれば次の図ようになる。

ここでは実験組はAの楽観的な観方は少なく、Bの進歩的或は革新的観方及びBの悲観的観方が多い。Cは、アナーキズム或はニヒルな政治意識、さらに一定の条件の下でのラジカリズムを内包しているといえる。Cについては高校生の心理的特徴をも反映して、統



制組にも多いことが注目されよう。

(6) 「下の文を読み、ア~エのうち、あなたの考えに最も近いものに○印をつけ、理由を付記せよ」

「日本国憲法の原理からすれば、国民の人権を保障するために、三権の相互関係に基づいて国政が行なわれることになっている。所で、現在の日本の三権分立の政治制度は、

	(実) 44	(統) 43
ア. 十分に本来の機能を発揮し、よく運用されている。	0 (0.0)	2 (4.7)
イ. 大体において機能しているし比較的よく運用されている。	11 (25.0)	18 (41.9)
ウ. 本来の機能は一部しか生かされずあまりよく運用されていない。	28 (63.6)	22 (51.2)
エ. 全く本来の機能は生かされずむしろ悪く運用されている。	5 (11.4)	1 (2.3)

この設問は三権分立制への評価を問うものであるが、ウに見られるように批判的観方が両組とも多い。

### おわりに

紙数の関係でくわしい分析を略せざるを得ないが、理由付けに共通してみられる問題点として1. 感覚的批判が、統制組、実験組共に多く、Real thinkingの難かしさを示している。2. 政治の原理と現実を「たて前」と「世の中」という形で簡単に二元化することが多い。3. 新聞、TVなどのマスコミ的情報に大きく影響されているなどの点が指摘できる。

「政治」の教材構成への今後の課題としては、権力の構造と現実の政治過程——特に現代日本の政治体制の下で、国民諸層が政策決定をめぐるくりひろげる政治要求及び政治参加の動き——を積極的にとりあげる必要があるといえよう。